



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.6 令和3年10月19日
発行者：校長 久保田 昌之

いわみっこ「実りの秋」

秋の気配が日に日に深まり、石海校区には美しいコスモスの花が咲き誇っています。緊急事態宣言が解除され、10月から各学年の校外学習が始まり、運動会の練習にも力が入っています。子どもたちにとって取り組んでいることの成果が表れる「実りの秋」となるよう、教職員一同全力を尽くしていきたいと思ひます。



さて、「子どもの心には三つの『鯛』が住んでいる」と言われることがあります。



- ① ほめられたい…「よくできたね」
- ② 認められたい…「ここまでよくがんばったね」
- ③ たよりにされたい…「ありがとう」「助かったよ」

これは、子どもだけでなく大人にも言えることかもしれない。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの「三つの鯛」を育てていきたいと思ひます。

「生きる力」を育む体験活動

インターネットやテレビ等を介して「間接体験」や「疑似体験」の機会が多くなり



ましたが、実際に触れ、関わり合う「直接体験」が子どもの成長の糧となります。石海小では、校外学習や学年行事等で学年の発達段階に応じて、さまざまな体験活動に取り組んでいます。

枝豆の収穫…3年生

3年生が栽培している大豆が豊かに実ったので、「みのり会」の皆様にご協力いただいて枝豆の収穫を行いました。たくさん収穫できたので、1人1kg持ち帰り、家でおいしくいただきました。



車いす・点字体験…4年生

4年生は、社会福祉協議会の皆様にご協力いただき、車いすの介助の仕方、点字ボランティア「点使の輪」の皆様には、点字の打ち方を指導していただきました。さまざまな福祉体験を通して、相手の身になって考え行動し、だれもが地域で安心して暮らせることの大切さを学びました。



伊勢自然の里で生き物観察…2年生

2年生は、校外学習で「伊勢自然の里環境学習センター」を訪れました。じゃぶじゃぶ池では、タイコウチ、ヤゴ、ヌマエビ等の生き物をつかまえることができました。



また、園内を散策し、貴重な植物を見ることができました。途中、マムシが出てきたときには、さすがにみんなびっくり。身近な環境を大切にすることが地球環境を守ることに繋がると気づきました。

赤穂で天然の塩づくり…3年生

3年生は、校外学習で赤穂海浜公園に行きました。塩の国では、海水を煮詰めて天然の塩づくりをしたり、昔の塩田作業を体験したりしました。また、赤穂化成の工場見学も行い、工場で作られた塩と天然の塩の味くらべやビデオ視聴を通して、昔と今の製塩方法のちがいを学習することができました。



革細工体験…5年生

5年生は、「命のつながり-皮から革へ」をテーマに学習しています。1学期に皮革工場を見学し、今回は、「たつのレザー」の皆様にご協力いただいて、革細工に挑戦しました。自分で材料や模様を選択し、オリジナルのペンケースを完成させることができました。



***** 教室の窓 *****

10月より緊急事態宣言が解除となり、延期になっていた各学年の校外学習や各種体験学習が始まり、実際に人やモノとふれあうよい機会になっています。スマホやインターネットが普及する中、多くの情報や映像を瞬時に手に入れることができますが、子どもたちは人やモノとの具体的な関わりを通して、感動したり、驚いたり、考えを深めたりするのだと思ひます。

車いすについて調べれば、たくさんの映像や情報を見ることができますが、実際に乗ってみることで気付く事や感じる事、考え始める事があります。情報化が進む中、情報や機器を扱うのも人間です。これからも人やモノとの直接体験を大切にしたいです。

(文責：教頭 三宅 優一)